

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



心に残る話はいつまでも

中学生の頃に目にしたお話しは意外と長い間、忘れることなく心に残るものではないでしょうか。本を読む習慣があまりなかった私でも、今も覚えているのですから。

これは、和菓子屋さんで働く若い女性（Aさん）のお話です。

ある日のこと。和菓子屋の社長のところに1本の電話がありました。相手は店の和菓子を配達しているスーパーの店長さんでした。

「大変な従業員を雇っているなあ」そう言うと、Aさんについてこんなことを教えてくれました。

1時間ほど前のことでした。和菓子屋さんの配達先の店長さんから和菓子屋さんの社長さんに電話がありました。ちょうどその時、社長さんが不在だったことでAさんが対応しました。電話口の店長さんはとても怒っているようでした。

「あんたじゃ話しにならない。社長はいないのか。まあいい。とにかくすぐに来てみなさい」

あいにく先輩の店員さんたちもいなかったため仕方なく、入社して間もないAさん1人でスーパーに向かいました。

スーパーの事務所に到着すると店長さんは、
「これが何だかわかるか」
と言って、Aさんに小さな黒い粒を見せました。

「これはね、ネズミの糞だよ」
「これが和菓子の中に入っていたんだよ。どうしてくれるんだ」

怒った店長さんの剣幕にAさんは長い時間、固まってしまいました。しかし、しばらくすると…

「店長さん、これはネズミの糞ではありません」

「小豆の粒じゃないですか」



ある日、和菓子屋の社長のもとに、1本の電話が入りました。



新人のAさんは、急いでスーパーに向かいました。



スーパーに到着すると、店長はものすごい剣幕で黒い粒を見せました。



Aさんは突然その粒をつまみ上げ、店長の目の前で食べてしまいました。

そう言うと、Aさんは、店長さんの目の前で粒をとって食べてしまいました。そして驚く店長さんに、

「では、これで失礼します」

「これからお願いします」

と言に残してスーパーを後にしたそうです。

「本来ならおたくとの取引はやめたいところだが、あの店員さんに免じて今回は勘弁しよう」

「それに肝心の証拠がなくなってしまうたしな」

「今後はもっと気をつけてくれよ。」

ガハハハ…」



驚く店長をよそに、Aさんは何食わぬ顔であいさつし、スーパーを後にしました。

Aさんのとっさの機転が、お店のピンチを救ったのでした。

このお話しが今の時代なら仮に本当にネズミの糞だとして、それを

食べたことでその場を乗り切ったことが中学生向けに紹介されるのかどうかは分かりません。

今から45年も前のことでした。

*夏休みに先生方で、AIについての研修会を行いました。そこで教えてもらったソフトで解説のイラストを作成してみました。どうですか？



Aさんのとっさの機転が、お店のピンチを救ったのでした。

◆ テストの次は体育祭へ ◆

第2回目の定期テストが終わりました。夏休み明け間もない時期ということで、準備も大変だったことでしょう。お疲れさまでした。

さて、9月11日(金)は体育祭です。テスト後から本格的な練習が始まりました。リーダーの皆さんの指示をよく聞き、よい体育祭にしてください。

◆ 教育実習の皆さんの紹介 ◆

8月31日(月)から教育実習が始まっています。限られた期間の中、互いに実りある実習期間になるといいですね。なお●●さんは、7日(月)に着任となります。

●●●さん

国語、3年1組、4週間

●●●さん

理科、2年3組、2週間

●●●さん

養護、2年1組、4週間

●●●さん

社会、1年2組、3週間

②氏名、担当教科、所属学級、実習期間の順です。

令和8年9月4日(金)

令和8年度 第11号

文責 校長 山口 靖博

*3学年種目と全校種目の間に、休憩時間が入ります。

令和8年度 体育祭プログラム

8:00	整列完了	10:40	選抜リレー
8:15	開会式	10:55	白北よさこい
8:45	応援合戦	11:15	閉会式
9:10	2学年種目	11:40	後片付け
9:30	1学年種目	12:15	給食、終学活
9:50	3学年種目	13:15	解団式
10:20	全校種目	14:00	下校完了